

# 障害者を同胞にもつきょうだいの思いと サポートのあり方

—インタビュー調査と PAC 分析を通して—

河田真紀 (九州ルーテル学院大学人文学部 心理臨床学科),

石山貴章 (教育心理学科), 田中 誠 (幼児教育学科)

## Feelings of Siblings of People with Disabilities and Support System

—through an interview survey and PAC analysis—

Maki KAWATA (Kyushu Lutheran College), Takaaki ISHIYAMA (Department of Educational Psychology) and Makoto TANAKA (Department of Preschool Education)

### 抄 録

本研究では、障害者をきょうだいにもつ同胞の思いや不安、葛藤を浮上させていくとともに、個人別に態度構造を測定するのに有効であるとされる PAC 分析を導入して検討を試みた。

その結果、同胞の体験や認識、感情に関する語りを抽出することができ、障害受容や困惑を形成している主な要因として、【特別意識】【世界の拡がり】【吐露】【親へのフォロー】【先の見通し不安】などの20カテゴリーが浮上した。さらに、個人別に態度構造を明らかにしていくために、PAC 分析を導入することで、インタビューでは十分捉えることの出来なかった“肯定的表現”の背後にある“感情隠しの部分”を表面化することが可能となった。

本研究結果は、今後、障害者を同胞にもつきょうだいたちが抱えている思いに対して、より深く、より正確に解釈していくことができるような基礎データを提示することができたと考える。

キーワード：障害者のきょうだい、 気づき、 支援、 インタビュー、 PAC 分析